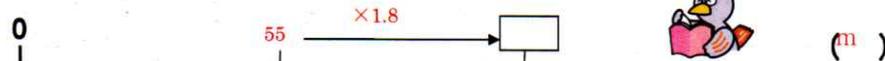


模範解答 ( )年( )組( )番 名前( )

1 次の問題を解きましょう。(式・答え15点、図10点 計40点)

(1) あるマンションの高さは、55mです。タワーの高さは、マンションの高さの1.8倍です。

タワーの高さは、何mですか。数直線図をかいて求めましょう。



式  $55 \times 1.8$       答え (  $99m$  )

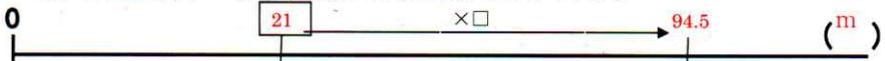
(2) 1Lのガソリンで13.6m走る自動車があります。

9.7Lでは、何km走れますか。



式  $13.6 \times 9.7$       答え (  $131.92km$  )

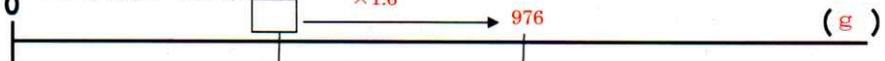
(3) 長方形の形をした校庭があります。横の長さは、94.5mでたての長さは、21mです。横の長さは、たての長さの何倍ですか。



式  $21 \times \square = 94.5$      $\square = 94.5 \div 21$       答え (  $4.5倍$  )

(4) 海岸の市場でアサリを買いました。1.6kgで976円でした。

1kgではいくらですか。

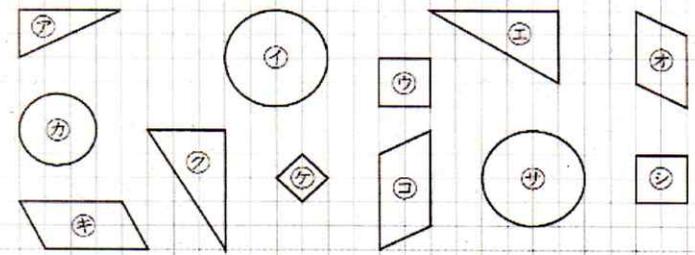


式  $\square \times 1.6 = 976$      $976 \div 1.6$       答え (  $610円$  )

模範解答 ( )年( )組( )番 名前( )



1 合同な図形を見つけましょう。(4問×10点)



点

ウとシ

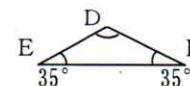
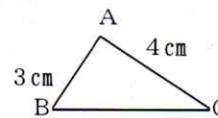
イとサ

エとク

キとコ

2 下の(1)(2)の三角形と合同な三角形をかくには、下の図にかかれた辺の長さや角の大きさのほかに、何がわかればかくことができるでしょう。(2問×10点)

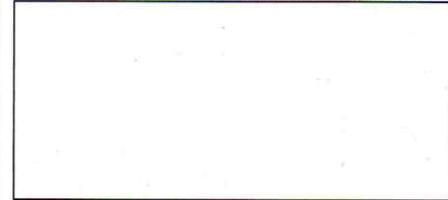
(1) (2)



(1) 角Aの大きさ か 辺BCの長さ
(2) 辺EFの長さ

3 次の三角形をかきましょう (2問×10点)

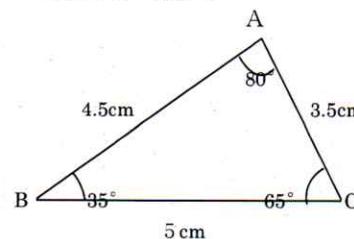
(1) 2つの辺の長さが4cm、5cmで、 (2) 1つの辺の長さが4cmで、その両はしのその間の角の大きさが30°の三角形 角の大きさが30°と40°の三角形



4 下の三角形ABCと合同な三角形DEFの

かき方を文章で説明しましょう。また、実際(じっさい)にかいてみましょう。

(2問×10点)



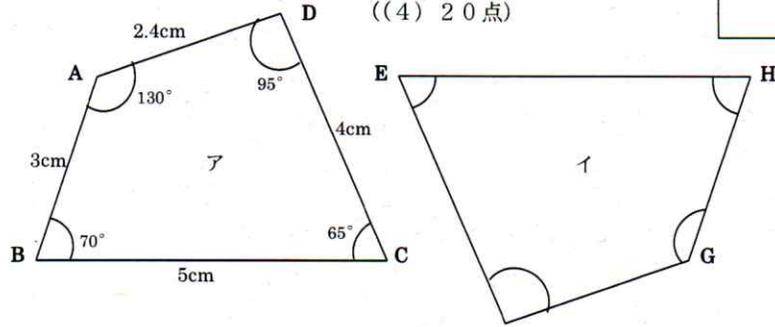
説明	(例)
	①辺BCを引く。 ②角B35°を測る。 ③角C65°を測る。 ④辺ABと辺ACを引いて合わさったところを頂点Aとする。



模範解答

( )年( )組( )番  
名前( )

1 次のアとイの四角形は合同です。((1)~(3)8問×10点)  
((4)20点)



点

(1) それぞれに対応する頂点をいいます

- ①頂点Aに対応する頂点 頂点G
- ②頂点Bに対応する頂点 頂点H
- ③頂点Cに対応する頂点 頂点E
- ④頂点Dに対応する頂点 頂点F
- ⑤角Gは何度ですか。 130°

(2) 辺FGに対応する辺はどれでしょう。また、その長さは、何cmでしょう。

対応する辺 辺DA 長さ 2.4cm

(3) 辺FEに対応する辺は、何ですか。 辺DC

(4) 四角形アと合同な四角形をかきましょう。

<省略>

( )年( )組( )番 名前

模範解答

1 次の数直線を見て答えましょう。(全部正解で10点)

(1) 偶数に○をつけましょう。(2問×10点)

94 95 96 97 98 99 100



(2) 奇数に○をつけましょう。

120 121 122 123 124 125 126



点

2 偶数には○、奇数には△をかっこにかきましょう。

(6問×10点)

- (1) 979 ( △ )
- (2) 653 ( △ )
- (3) 666 ( ○ )
- (4) 434 ( ○ )
- (5) 777 ( △ )
- (6) 1002 ( ○ )

3 165796は、偶数ですか、奇数ですか。(20点)

また、わけを説明しましょう。

わけ

偶数ですか、奇数ですか

偶数

<例>

一の位の6が偶数で、2で割ることができるから。



( )年 ( )組 ( )番

模範解答

名前

1 つぎの整数を偶数と奇数に分けましょう。

(2問×10点)

点

0 27 64 208 109 2000

(1) 偶数 (0, 64, 208, 2000)

(2) 奇数 (27, 109)

2 つぎの整数について答えましょう。

(2問×10点)

2699 51 47 112 200

(1) いちばん大きい偶数は何ですか。 (200)

(2) いちばん小さい奇数は何ですか。 (47)

3 □にあてはまる数を書きましょう。

(4問×10点)

(1)  $18 = 2 \times \boxed{9}$

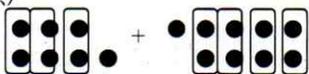
(2)  $5 = 2 \times \boxed{2} + 1$

(3)  $24 = 2 \times \boxed{12}$

(4)  $21 = 2 \times \boxed{10} + 1$

4 奇数と奇数の和は偶数になります。そのわけを、下の図を使って説明しましょう。

(20点)



<例>

●の数は、 $7 + 9 = 16$ になる。  
 7は6と1で7、9は8と1で9になる。  
 6と8は偶数である。図を見ると、●が1つずつ余っているのだと2となる。よって2つずつの組み合わせが、8個となり、 $2 \times 8 = 16$  16は偶数なので、奇数+奇数は偶数となる。



( )年 ( )組 ( )番

模範解答

名前

1 6と10の倍数を、それぞれ小さい順に5つ書きましょう。また、6と10の公倍数を1つ書きましょう。(10点×3)

点

- (1) 6の倍数 (6, 12, 18, 24, 30)
- (2) 10の倍数 (10, 20, 30, 40, 50)
- (3) 6と10の公倍数 (30)

2 ( )の中の数の公倍数を、小さい順に3つ書きましょう。また、最小公倍数は何でしょうか。(10点×5)

(1) (4, 9) (36, 72, 108) 最小公倍数 (36)

(2) (10, 12) (60, 120, 180) 最小公倍数 (60)

(3) (3, 18) (18, 36, 54) 最小公倍数 (18)

(4) (28, 42) (84, 168, 252) 最小公倍数 (84)

(5) (2, 3, 5) (30, 60, 90) 最小公倍数 (30)

3 8時10分に出発したバスと電車があります。そのバスと列車は、それぞれ20分ごと15分ごとに発車します。

今、バスと列車が同時に発車したとき、次に同時に発車するのは何時何分ですか。考え方と答えを書きましょう。(20点)

考え方 <例>

20と15の最小公倍数を求めると同時に発車する時刻を求めることができる。  
 20と15の最小公倍数は、60なので、60分後となる。時刻は、9時10分となる。

答え

9時10分



模範解答

1 分数は小数で、小数や整数は分数で表しましょう。

(8問×10点)

$$(1) \frac{3}{5} = 3 \div 5$$

$$= 0.6$$

$$(2) \frac{12}{25} = 12 \div 25$$

$$= 0.48$$

$$(3) 1\frac{1}{4} = 5 \div 4$$

$$= 1.25$$

$$(4) \frac{1}{8} = 1 \div 8$$

$$= 0.125$$

$$(5) 0.46 = \frac{46}{100}$$

$$(6) 0.7 = \frac{7}{10}$$

$$(7) 2.3 = \frac{23}{10} \text{ または } 2\frac{3}{10}$$

$$(7) 17 = \frac{17}{1}$$

2 次の数を、大きい順にならべます。どのように比べますか。比べ方を言葉と式で説明しましょう。(20点)

$$0.74 \quad \frac{7}{10} \quad \frac{4}{2} \quad 1.3 \quad \frac{5}{7} \quad 1\frac{1}{3}$$



比べ方

分数を小数になおして比べる。

$$\frac{7}{10} = 7 \div 10$$

$$\frac{4}{2} = 4 \div 2$$

$$\frac{5}{7} = 5 \div 7$$

$$1\frac{1}{3} = 4 \div 3$$

$$= 0.7$$

$$= 2$$

$$= 0.714$$

$$= 1.333\cdots$$

これらを大きい順にならべると

答え  $\frac{4}{2}$   $1\frac{1}{3}$  1.3 0.74  $\frac{5}{7}$   $\frac{7}{10}$  となる。

模範解答

1 次の大きさを分数で表しましょう。

(2問×10点)

$$(1) 0.45\text{m} = \frac{45}{100}\text{m}$$

$$(2) 0.9\text{g} = \frac{9}{10}\text{g}$$

点

2 次の分数を  $\frac{1}{1000}$  の位までの小数で表しましょう。答えは

答えは四捨五入して求めましょう。(3問×10点)

$$(1) \frac{7}{12} = 7 \div 12$$

$$(2) \frac{9}{7} = 9 \div 7$$

$$(3) \frac{5}{6} = 5 \div 6$$

$$= 0.583\bar{3}$$

$$= 1.28\bar{57}$$

$$= 0.83\bar{3}$$

3 分数で答えましょう。(3問×10点)

$$(1) 20\text{m} \text{ は } 15\text{m} \text{ の何倍ですか。 } 20 \div 15 = \frac{20}{15}$$

答え  $\frac{20}{15}$  倍

$$(2) 7\text{kg} \text{ は } 30\text{kg} \text{ の何倍ですか。 } 7 \div 30 = \frac{7}{30}$$

答え  $\frac{7}{30}$  倍

$$(3) 4\text{cm} \text{ を } 1 \text{ とみると、 } 5\text{cm} \text{ はいくつ分にあたりますか。 } 5 \div 4 = \frac{5}{4}$$

答え  $(\frac{5}{4})$  分

4  $\frac{1}{5}\text{L} + \frac{2}{5}\text{L}$  の答えが  $\frac{3}{5}\text{L}$  になるわけを説明しましょう。図をかいて説明してもかまいません。(20点)

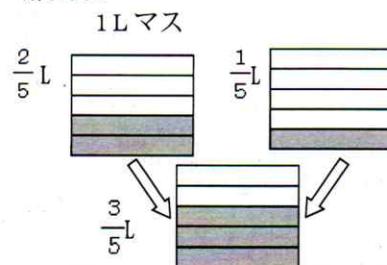
説明

解答例1

$\frac{1}{5}\text{L}$  は、1Lを5つに分けた1つぶん、 $\frac{2}{5}\text{L}$  は、1Lを5つに分けた2つぶん。

これを合わせると、 $\frac{3}{5}\text{L}$  が3つぶんとなるので、答えは  $\frac{3}{5}\text{L}$  である。

解答例2



$\frac{2}{5}\text{L}$ 、 $\frac{1}{5}\text{L}$  を図に表わすと左の図のようになる。これを合わせると

左下の図のように  $\frac{3}{5}\text{L}$  になる。

